

普及現地情報

発信年月日:令和6年(2024年)7月4日
所属名:甲賀農産普及課
番号:C24003
発信者名:近藤、志和



甲賀市の小学生が地場産業の茶業を学ぶ!!

6月21日と7月2日の両日、甲賀市内の小学生が地場産業の茶業を学ぶため、土山町の頓宮大茶園と製茶工場を見学されました。当課は、受け入れ農家と連携し、茶の栽培や製造について説明を行いました。

6月21日、甲賀市立水口小学校の3年生85人が県内最大の集団茶園である頓宮大茶園を訪問されました。児童たちは二番茶の育ち方や摘採の様子を見学され、土山町茶業協会の松下良正協会長からお茶の栽培方法や摘採方法についての説明を受けました。新芽が茶園で育つ様子を初めて目にする児童も多く、「この後どのようにしてお茶が作られるのか」といった質問が飛び、お茶に対する興味が深まった様子でした。

また、7月2日には甲賀市立土山小学校の3年生24人が地元茶農家、辻正樹さんの製茶工場を訪れました。当日はあいにくの雨模様で、二番茶の製造過程は見られませんでした。児童たちは大きな製茶機械を間近で見学し、「大きな機械が並んでいて機械の工場みたい」、「お茶を作るのにこんなに大きな機械を使うと思わなかった」といった感想を述べ、茶の製造に非常に興味を持たれた様子でした。

これらの見学を通じて、未来を担う地域の子供たちに地元特産の茶について関心や興味を深めてもらうことができました。当課は、今後も、体験学習などを受け入れる茶農家に協力していきます。



質問する土山小学校の児童



製茶機械を説明する茶農家